

将来の電力需給シナリオ検討会に係る企画運営業務委託
(2024年度)

応札資料作成要領

電力広域的運営推進機関

目次

第 1 章 電力広域的運営推進機関が応札者に提示する資料及び応札者が提出すべき資料

第 2 章 評価項目一覧に係る内容の作成要領

- 2. 1 評価項目一覧の構成
- 2. 2 提案要求事項

第 3 章 提案書に係る内容の作成要領および説明

- 3. 1 提案書の構成および記載事項
- 3. 2 提案書様式および契約書（案）様式
- 3. 3 応札者による提案書の説明（プレゼンテーション）
- 3. 4 留意事項

第 4 章 提案書に関する留意事項

- 4. 1 業務委託目的、業務委託内容、業務委託実施方法
- 4. 2 業務委託実施計画
- 4. 3 業務委託実施体制

第 5 章 別紙

- 5. 1（別紙 1）適合証明書

本書は、将来の電力需給シナリオに関する検討会に係る企画運營業務委託（2024年度）に係る応札資料(評価項目一覧および提案書)の作成要領を取りまとめたものである。

第1章 電力広域的運営推進機関が応札者に提示する資料および応札者が提出すべき資料

電力広域的運営推進機関（以下「広域機関」）は応札者に以下の表1に示す資料を提示する。応札者は、それを受け、以下の表2に示す資料を作成し、広域機関へ提出する。

[表1 広域機関が応札者に提示する資料]

資料名称	資料内容
① 仕様書	将来の電力需給シナリオに関する検討会に係る企画運營業務委託（2024年度）の仕様を記述（業務委託の目的・内容等）。
② 応札資料作成要領	応札者が評価項目一覧及び提案書に記載すべき項目の概要を記述。
③ 評価項目一覧	提案書に記載すべき提案要求事項一覧、必須項目および任意項目の区分、得点配分等を記述。
④ 評価手順書	広域機関が応札者の提案を評価する場合に用いる評価方式、総合評価点の算出方法および評価基準等を記述。

[表2 応札者が広域機関に提示する資料]

資料名称	資料内容
① 入札書	別添支出計画書とともに、入札金額を記載したもの。提案書とは別途封入し提出すること。
② 評価項目一覧の提案書頁番号欄に必要事項を記入したもの	評価項目一覧の提案書頁番号欄に、該当する提案書の頁番号を記入したもの。
③ 提案書	○仕様書に記述された供給力想定（原子力・揚水・火力等）、需要想定見直し検討、ロードカーブ想定、CO2排出量算定、価格弾力性検討、詳細シミュレーションおよび技術検討会社の選定・仕様に関する提案について説明したもの。 ○上記提案内容を含む将来の電力需給シナリオに関する検

	<p>討会に係る企画運營業務について、どのように実現するかを説明したもの。主な項目は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務委託内容、業務実施体制等 ・業務実施計画 ・組織としての専門性、類似事業実績 ・業務従事予定者・全体管理責任者の専門性、類似事業実績 ・業務委託遂行のための経営基盤・管理体制 ・補足資料等
④ 適合証明書	入札資格を満たしていることを証する書面。
⑤ 契約書（案）	本業務を受託した際の契約書（案）
⑥全省庁統一資格 資格審査結果通知書（写）	令和04・05・06年度の競争参加資格（全省庁統一資格）の「役務の提供等」において、等級「A」に格付けされていること

第2章 評価項目一覧に係る内容の作成要領

2.1 評価項目一覧の構成

評価項目一覧の構成および概要説明を以下に記す。

[表3 評価項目一覧の構成の説明]

評価項目一覧における頁番	事項	概要説明
1～3	提案要求事項	提案を要求する事項。これら事項については、応札者が提出した提案書について、各提案要求項目の必須項目および任意項目の区分け、得点配分の定義に従いその内容を評価する。

2.2 提案要求事項

評価項目一覧中の提案要求事項における各項目の説明を以下に示す。応札者は、別添「評価項目一覧の提案要求事項」における「提案書頁番号」欄に必要事項を記載すること。提案要求事項の各項目の説明に関しては、表4を参照すること。

[表4 提案要求事項上の各項目の説明]

項目名	項目説明・記入要領	記入者
大項目～小項目	提案書の目次（提案要求事項の分類）	広域機関
提案要求事項	応札者に提案を要求する内容	広域機関

評価区分	必ず提案すべき事項（必須）又は必ずしも提案する必要は無い項目（任意）の区分を設定している。各項目について、記述があった場合、その内容に応じて配点を行う。	広域機関
得点配分	各項目に対する最大加点	広域機関
評価基準	各提案要求事項における基礎点及び加点別の分類	広域機関
提案書頁番号	作成した提案書における該当頁番号を記載する。該当する提案書の頁が存在しない場合には空欄とする。評価者は各提案要求事項について、本欄に記載された頁のみを対象として採点を行う。	応札者

第 3 章 提案書に係る内容の作成要領および説明

3. 1 提案書の構成および記載事項

提案書は、評価項目一覧の提案書の目次及び提案要求事項に従い、提案要求内容を十分に咀嚼した上で記述すること。

3. 2 提案書様式および契約書（案）様式

- ① 提案書の様式は自由とする。
- ② 提案書および評価項目一覧は A 4 判カラーにて印刷し、特別に大きな図面等が必要な場合には、原則として A 3 判にて提案書の中に折り込む。
- ③ 提出物は、上記の紙資料とともに、電子媒体でも提出する。その際のファイル形式は、原則として、MS-W o r d、MS-P o w e r P o i n t、MS-E x c e l 又は P D F 形式とする（これに抛りがたい場合は、広域機関まで申し出ること。） なお、契約書（案）は、MS-W o r d 形式とする。

3. 3 応札者による提案書の説明（プレゼンテーション）

- ① 応札者は、広域機関に対し自らの提案内容の説明を行う。
- ② 当該説明に当たっては、広域機関が指定する場所（w e b 会議を含む）にてプレゼンテーションを行うこととし、その際には、原則としてプロジェクト・リーダーに該当する者が実施する。
- ③ 当該プレゼンテーションの日時等については、入札締切（提案書提出期限）後に広域機関と応札者とで別途調整する。また、プレゼンテーションの時間は、現時点では 1 社あたり 4 0 分程度（発表 2 5 分、質疑応答 1 5 分程度）を想定している。

- ④ プレゼンテーションにあたっては、与えられた時間を踏まえ、必要に応じて提案書とは別に要約版資料を用意するなど、効率的な実施のために工夫する。

3. 4 留意事項

- ① 提案書を評価する者が特段の専門的な知識や商品に関する一切の知識を有しなくても評価が可能な提案書を作成する。なお、必要に応じて、用語解説などを添付する。
- ② 応札者は提案の際、提案内容についてより具体的・客観的な詳細説明を行うための資料を、添付資料として提案書に含めることができる(その際、提案書本文と添付資料の対応が取れるようにする)。
- ③ 広域機関から連絡が取れるよう、提案書には連絡先(電話番号、FAX番号、およびメールアドレス)を明記する。
- ④ 提出物を作成するに際しての質問等を行う必要がある場合には、別紙の質問状に必要事項を記載の上、2024年2月1日(木)17時までに下記問い合わせ先へ、電子メールで問い合わせる。

【問い合わせ先】

広域機関 総務部会計室(契約担当)

メールアドレス：keiyaku@occto.or.jp

- ⑤ 上記の提案書構成、様式および留意事項に従った提案書ではないと広域機関が判断した場合は、提案書の評価を行わないことがある。また、補足資料の提出や補足説明等を求める場合がある。

第4章 提案書に関する留意事項

評価項目一覧の評価基準を参考に、以下事項に留意し提案書を作成すること。

4. 1 業務委託目的、業務委託内容、業務委託実施方法

具体的に記載すること。業務委託内容のうち、シナリオ策定および検討会の具体的な進め方について、以下の提案を記載すること。

- ・需要・供給力シナリオ検討に関する提案
- ・検討会・作業会の運営方法(進め方など)に関する提案
- ・技術検討会社の選定・仕様に関する提案
- ・海外調査(対象国、調査方法など)に関する提案
- ・供給力想定方法(原子力・揚水・火力等)に関する提案
- ・需要想定見直し検討に関する提案
- ・ロードカーブ想定方法に関する提案
- ・CO2排出量算定方法に関する提案
- ・価格弾力性検討方法に関する提案
- ・詳細シミュレーションの実施方法に関する提案

また、業務委託実施方法については、効率的かつ効果的に行う具体的な実施方法および広域機関の業務工数削減につながる効率化については、必ず工夫している点を具体的に記載すること。

4. 2 業務委託実施計画

確実に成果をあげるために、応札者が行う業務委託実施計画（作業内容・スケジュール）について主要なマイルストーンを記述し、提案したスケジュールの根拠（手順等）を具体的、客観的に記載すること。また、遅滞なく作業を効率的に完了するための工夫も併せて記載すること。

4. 3 業務委託実施体制

(1) 委託実施体制

業務の実施体制や役割分担について、体制上の役割分担や担当者数を記載すること。また、実施体制については個々の業務の担当を明確に記載すること。

(2) 組織としての専門性、類似事業実績

組織として、本業務に関する専門知識（将来の電力需給想定に関する専門的知見およびその知見等を用いた電力需給想定能力）、類似事業（電力業界、各省庁、地方自治体に対する委員会企画運営）について記載すること。また、類似業務（電力業界、各省庁、地方自治体に対する委員会企画運営）への従事実績について、件名ごとに以下の事項を記載することとし、一覧での提出も可とする。

- ・相手先（実名が記載できない場合は、相手先がイメージできる記載（例：大手新電力、旧一般電気事業者等、省庁、地方自治体）を行うこと）
- ・実施年度
- ・概要
- ・規模

(3) 業務委託従事予定者の専門性、類似業務実績

業務委託従事予定者の、本業務委託に関する専門知識、ノウハウ等の蓄積、類似業務実績等について記載すること。なお具体的には、以下の事項を記載することとし、一覧での提出も可とする。

- ・業務担当者名
- ・部署、役職
- ・予定担当業務、役割
- ・業務経験（顧客の業種、実施業務やその内容）
- ・略歴、保有スキル、専門知識（将来の電力需給想定に関する専門的知見）、類似業務実績（電力業界、各省庁、地方自治体に対する委員会企画運営）等

(4) 業務委託遂行のための経営基盤、管理体制

事業を円滑に行うための経営基盤、管理体制について記載すること

第 5 章 別紙 5. 1 (別紙 1) 適合証明書